

事務事業マネージメントシート

作成日 平成24年05月14日

事務事業名	家庭教育通信発行事業				担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係		
政策名	B 学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				電話番号	0285-82-7151		
施策名	3 青少年の健全育成				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和48 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	教育基本法・社会教育法							
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費	1.社会教育総務費				
事業概要	<p>・幼児期における保護者などの考え方やしきつけを内容とした「すこやか」（昭和53年度～）、小学校の時期における親の心構えやしきつけなどを内容とした「のびる」（昭和48年度～）、中学生の個性を認めて親として適切な対応をとることを内容とした「めざめ」（平成5年～）がある。</p> <p>・3信とも「届ける家庭教育」として幼稚園、保育園及び小中学校に就園、就学している保護者に発行している。</p> <p>・また、「すこやか・のびる・めざめ」及び各家庭教育学級の活動をまとめた「真岡市の家庭教育」を発行している。</p> <p>・編集委員「すこやか」5人（幼稚園、保育園関係者）「のびる」5人（小学校関係者）「めざめ」（栃木県連合教育会へ依頼）</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民として、豊かな人間性を持った健やかな青少年を育てるため、通信を発行して家庭教育の啓発をしていくことは、子育ての資質向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 家庭教育の充実のために、必要な事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 幼稚園・保育園・保育所等から中学生までを対象として配布している。（保育ママについては、児童家庭課を通じ配布している。）
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・「届ける家庭教育」ができるだけ多くの人に読まれ、子育ての資質向上が図られるように、紙面の大きさ、活字量、編集方法、関心のあるテーマ等を十分に協議している。 ・アンケートを実施し、読者のニーズを把握している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 家庭教育学級に参加していない、または参加できない保護者に対し、人生のうちで最も大切な人格形成期における家庭教育の重要性を学ぶ機会が失われる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費の削減は、配布回数の削減につながり、保護者への家庭教育に対する学習の機会が失われる。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 原稿依頼から内容校正、印刷、発行、配信まで必要最小限の事務を行っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象となる全保護者へ発行している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止 見直し (:目的妥当性 :有効性 :効率性 :公平性) 統合 継続

(3) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

(2) 2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

(5) 改革・改善による期待成果

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充
 事業統廃合 事業のやり方改善
 予算削減 予算増大
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(4) その他2次評議会議で指摘された事項